



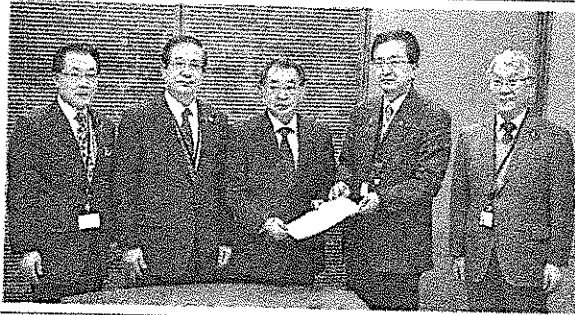
東北誘致

本県政産学官 国に実現要望

【東京支社】 達増知事ら
県内の政産学官関係者は7
日、本県の北上山地（北上
高地）が建設候補地とされ
る超大型加速器国際リニア
コライダー（ILC）の実
現に向け、国や国会議員連
盟に要望した。

達増知事、鈴木俊一五輪
相（衆院岩手2区）、鈴木
厚人県立大学長、谷村邦久
県ILC推進協議会長ら
が、大島理森衆院議長、リ

ニアコライダー国際研究所
建設推進議員連盟の塩谷立
幹事長、新妻秀規文部科学



国会議員連盟の塩谷立幹事
長にILC誘致の要望書を
手渡す達増知事（右から2
人目）ら

政務官らにそれぞれ要望書
を渡した。

要望は政府に対し、誘致
に向けた過程や投資と人材
の国際分担の考え方につい
て早期明示などを求める内
容。要望はそれぞれ非公開
で、出席者によると、塩谷
氏は1月の訪欧の成果を踏
まえ、政府に改めて誘致を
働きかける姿勢を示した。

達増知事は「それぞれの
方々に地元と同じ熱量を感
じた。実現を見据え具体的
に動いていきたい」と述べ
た。県推進協がILCの経
済波及効果を近くまとめる
予定で、谷村氏は「検証材
料として活用してもらい、
政府の決断を後押しした
い」と期待した。